



上野公園の桜(庄原市)

会報



庄原ロータリークラブ
SHOBARA ROTARY CLUB
2012~2013年度

- 例会/火曜日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

2013年4月2日例会記録

35号(885)

<ul style="list-style-type: none"> ■2013年4月9日のプログラム ■次回のプログラム 	<p>R 情報・雑誌会報委員会担当&地区協議会報告 プログラム委員会担当(高野町 道の駅視察)</p>
---	---

会長挨拶

滝川会長



「昔の結婚の一形態について」

皆さん今日は。今日は江戸時代の結婚の一形態についてお話いたします。

昔「菜の花の沖で」という題名の司馬遼太郎の小説を読んだことがあります。その中に村の若い男女の結婚する方法が描いてありましたので、それをお話いたします。司馬遼太郎は史実に基づいた小説が得意なので、この話の信憑性はかなり高いと思います。

場所は淡路島です。そこの未婚の女性はそれぞれの村の青年団の共有のものであり、ある村の青年が違う村の女性と結婚するのはタブーであり、非常に難しいことでした。

物語は主人公の青年がよその村の女性を好きになり、その女性のいる村の青年団からリンチやいじめを受けましたが、幾多の困難を乗り越えてその女性を連れて神戸まで駆け落ちしてその女性と結婚することができ、神戸で丁稚奉公から始まって回船問屋の主人になり、大金持ちになって北海道の開拓にまで手を染めると言った青年の生涯を描いた物語だったと思います。

それはさておき、淡路島の青年団の話に戻りますと、ある村の未婚の女性は青年団の意識を理解していて、夜は村のどんな青年でも女性の家に入って来れるように準備していて、家に来た青年と交わったそうです。従って女性は好き嫌いに関係なく誰でも受け入れたようです。やがて妊娠がわかると、初めてその女性は好きな青年の名前を告げてその青年と結婚したそうです。実際、誰の子供か判りませんが、もっとも時にはある青年の顔とそっくりで誰の子か一目瞭然だったと思いますが、村の青年団員共有の子供として大切に育てたそうです。

昔は今と違って公然と交際できない時代でしたし、特に農民や漁民はお見合いとか言った慣習もなかったもので、一つの知恵としてこのような風習ができたのではと思います。比和にも夜這いがあったという話は聞いたことがあるのですが、淡路島と違って、単に男と女の逢引きだったようです。以上で会長の時間を終わります。

奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長

田中作次

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.34号 ②ガバナー月信No.10
③米山学友会報No.20号
2. 東城RCより、合同例会のご案内 5月7日(火)午後7時
3. IMに出席される方は、中学校下の駐車場を12:30出発します。
後日ご案内をFAXいたします。

出席報告

会員数	36名	出席者	27名	MU	3名
欠席者	6名	出席率	83.33%		

スマイル報告

- 足立会員・・・新年度になりました。
- 石田会員・・・今月よりプログラム委員長へ登場します。
宜しくお願ひします。
- 内田会員・・・尾松道、三次一松江開通、8本のトンネルへ燃料を供給したので、主人と宍道湖まで行ってみました。荒木商会にとって尾松道、まさに特需でした。
- 角田会員・・・この度、西城川漁業組合の組合長に就任致しました。
- 椿 会員・・・欠席多く申し訳ありません。
- 豊浦会員・・・しばらく休みます。ご迷惑をかけますが、よろしく。
- 中原会員・・・8年間お世話になりました。今後共宜しくお願ひします。
- 平田会員・・・4/1、15:36、アメリカに英語留学中の中国の娘のハシンより、国際電話あり、お母さん元気ですかと留守電にありました。感激と感謝です。有難いですね。

■プログラム

各部会進捗状況報告

創立20周年実行委員会担当

◆記念事業部会

角田部会長



◆式典部会

田邊部会長



◆祝賀部会

藤本部会長



◆総務部会

伊藤部会長

